

# カモシカ通信



ようやく過ごしやすい季節になりました。思い出せば今年の夏も暑かった……。皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。今回のカモシカ通信は、『令和元年度 天竜川水系ツバタ沢砂防堰堤工事』のご紹介と、「遠山霜月祭の『面(おもて)』」についてです。

## 令和元年度 天竜川水系ツバタ沢砂防堰堤工事



私たちが工事を担当しています！



現場代理人 西村 光樹

平成29年度に担当技術者として、関わらせて頂いておりますので、現場周辺の状況について少しは理解しているつもりです。  
ご意見・ご不明な点がございましたらお気軽にお声掛けください。



監理技術者 平栗 浩二

ツバタ沢の土石流については当時、南信濃で工事を行っていたため覚えており、堰堤の重要性を再確認しました。早期に完成できるように工事を進めて参りますので、よろしくお願いいたします。

この工事は、平成22年7月に土石流が発生して国道152号を通行不能にさせたツバタ沢に、土石流を捕捉するため計画された不透過形のコンクリート砂防堰堤を建設する工事です。

一番最初の工事は、平成24年度末に発注されていまして、今回私どもの会社がのべ6社目の施工者となる工事です。弊社は前回、平成29年8月26日から平成30年3月28日まで、主に「主堰堤」の施工に携わらせていただきお世話になりました。今回は、「副堰堤」と「側壁」、「水叩き部」を完成させる工事です。

私どもは、7月中旬に工事契約し工事に着手しましたが、長雨や猛暑の影響で若干工程に遅れが生じてしまいました。現在は順調に行っています。工事期間中は地域の皆様方に、工事車両の通行や騒音など、大変ご迷惑をお掛けしますが、ご理解ご協力をお願い致します。安全第一で工事を進めて参りますので、どうかよろしくお願いいたします。

【工事概要】 砂防堰堤 1式

■砂防土工

掘削970m<sup>3</sup>、盛土40m<sup>3</sup>、残土処理工5,330m<sup>3</sup>

■法面工

モルタル吹付284m<sup>2</sup>、鉄筋挿入工227m

■コンクリート堰堤工

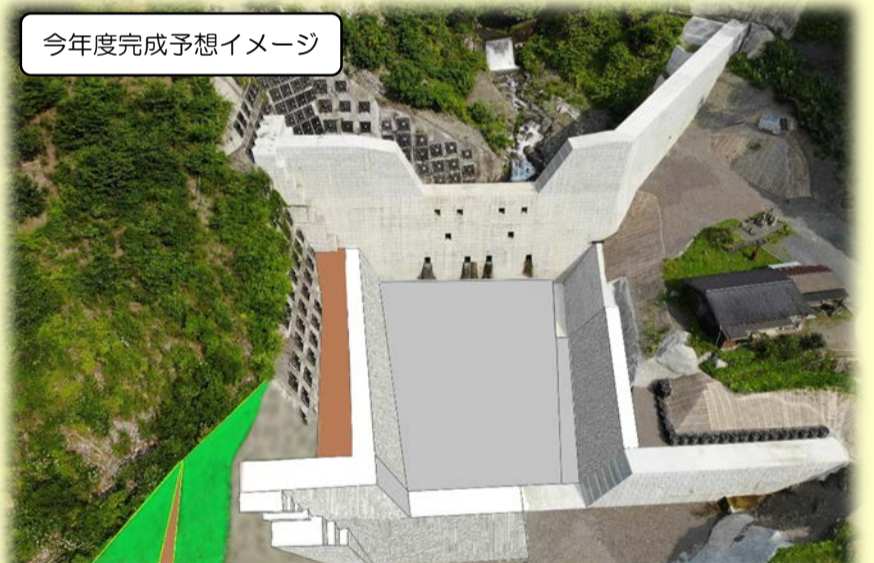
副堰堤工1,022m<sup>3</sup>、側壁工1,410m<sup>3</sup>、水叩工1,597m<sup>3</sup>

■仮設工

工事用道路1式、砂防仮締切工1式、仮水路工1式、作業ヤード整備工1式



着手前 令和元年8月



今年度完成予想イメージ

## 遠山霜月祭の面(おもて)

『遠山の霜月祭』

国の重要無形民俗文化財指定の『遠山の霜月祭』は西部神道の流れを汲む湯立神楽祭りで、旧暦の霜月に神々に聖なる湯をささげて万物の命の蘇生をうながす祭りである。

この面は『霜月祭』に登場する『面(おもて)』である。平成十一年霜月 建立 (石像説明書きより)

遠山霜月祭は800年の伝統をもつ祭りで、湯を煮えたぎらせた釜の周りを神様や農民などの仮面をつけた被り手たちが、舞い踊りつつ釜湯かけを行う祭りで、毎年12月に遠山谷の12集落、13社で祭りが繰り広げられます。

現在、遠山霜月祭は地域ごとに大きく、4つの系統に区分でき、このうち上町・下栗・木沢の3タイプは、笛を伴い、複数の湯釜で湯立てを数多く行います。一方、和田タイプは、笛がなく、湯釜は1つで湯立ても3立てのみとなるようです。

霜月祭で使用される面は、面(おもて)と言い、各神社でそれぞれに面を保有しています。その数は15面から41面、総計286面に達します。遠山では、面は神様そのものとして、神聖に扱われています。

和田商店街の南北入口と中央部に右写真の大きな石像があります。この石像は霜月祭に登場する面(おもて)の中でも代表的な神様で、今にも動き出しそうなくらい迫力があります。

暑い夏も終わり、秋が深まり、今年も霜月祭の季節がやって来ます。



八幡明神 (木沢)



諏訪明神



水の王



八幡大神 (八重河内)



宮天伯



遠山様



火の王



天満宮